

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立中学校全体)

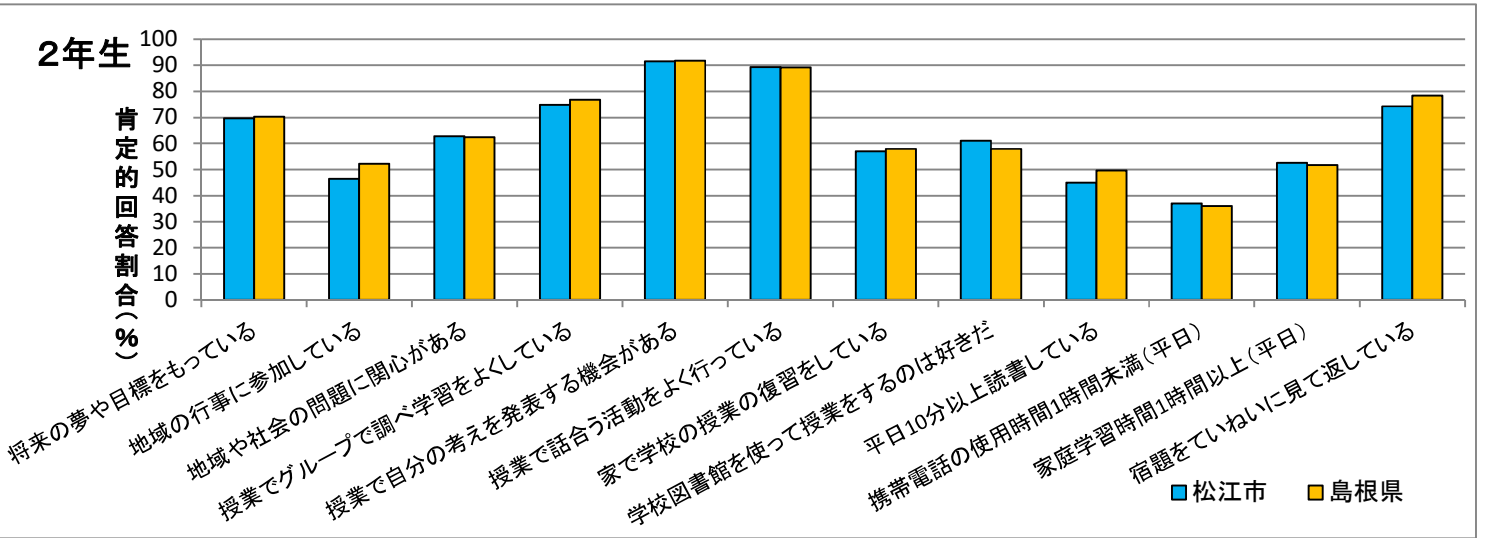
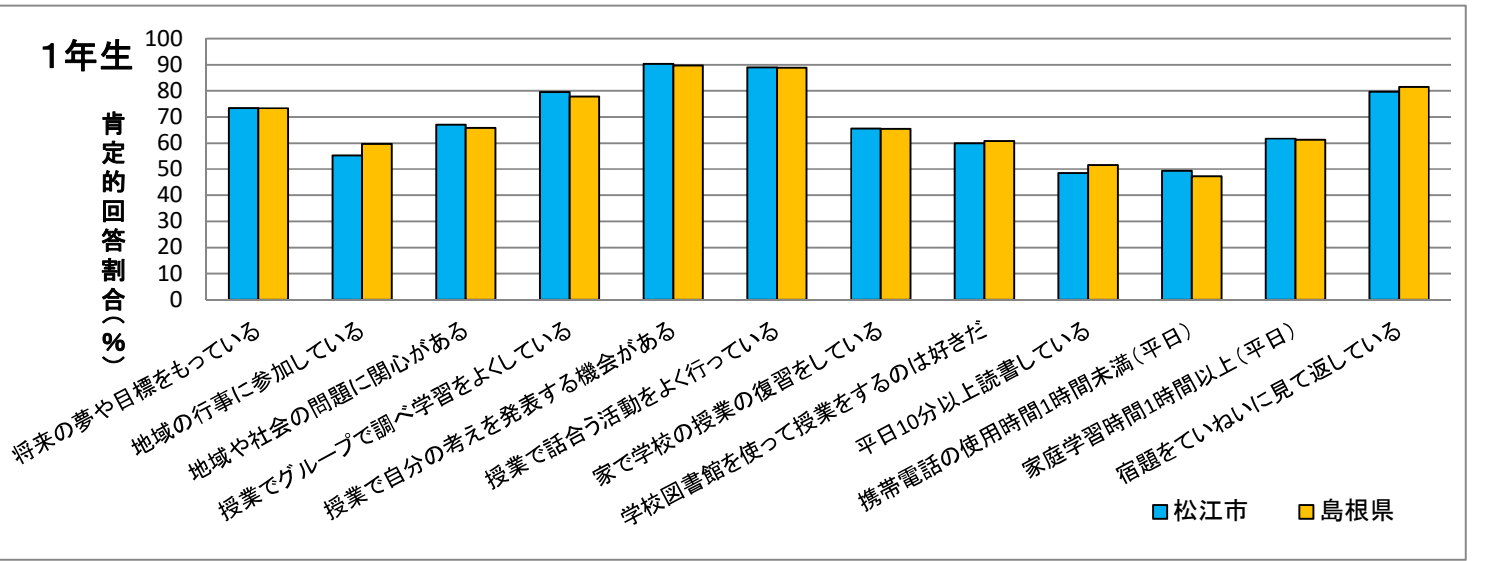
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
1年	国語	○漢字を正しく読むことは概ね定着が見られる。 ○グラフをもとに根拠を明確にして文章を捉え、意見を書く問題はできている。 ●話し合いの中での発言の役割について捉えることに課題が見られる。 ●文章の展開について、自分の考えをまとめることに課題が見られる。	○「まつえ『子ども夢☆未来』プロジェクト」を推進し、教師の授業力・指導力の向上を図るために、以下のような対策を行う。 ・学校訪問指導の充実・強化 (計画訪問指導・悉皆訪問指導・ほっとらいん訪問指導 等) ・教職員の研修の充実 (フォローアップ研修の充実、英語科やプログラミング教育にかかわる研修の実施) ・全国学力学習状況調査結果の伝達と分析に係る研修の開催
	数学	○1次方程式の基本的な問題を解くことは概ねできている。 ○樹形図を用いて場合の数を求めることは概ねできている。 ●分数を含む文字式の計算に課題が見られる。 ●数量の関係を読み取り説明することに課題が見られる。	
	英語	○まとまりのある内容を聞いて、概要や必要な情報をとらえることは概ねできている。 ○日常的な話題について、情報を正確に読み取ることは概ねできている。 ●まとまりのある内容を聞いて、質問に適切に応じることに課題が見られる。 ●英文の内容を理解し、まとまりのある文を書くことに課題が見られる。	
2年	国語	○漢字を正しく読むことは概ね定着が見られる。 ○話し手の考えを参考にしながら、自分の考えをまとめて話す問題はできている。 ●書いた文章を読み返し、必要な情報を捉えることに課題が見られる。 ●伝えたい事柄について、情報を参考にして書くことに課題が見られる。	・学力調査結果のとりまとめ ・学力向上支援員や学力向上支援講師の配置 ・学力向上研究支援事業(経費補助)の実施 ・市長杯イングリッシュコンテストの開催 ・かしこい体づくりの推進 ・メディア対策の推進や家庭学習の拡充に向けたPTAや関係諸機関との連携強化
	数学	○数や式の基本的な四則計算は概ねできている。 ○回転角の大きさを求めることは概ねできている。 ●問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 ●規則性のある場面について、文字式を用いて説明することに課題がある。	
	英語	○まとまりのある内容を聞いて、情報を正しく聞き取ることが概ねできている。 ○まとまりのある文章を読み、大切な部分を正確にとらえることが概ねできている。 ●まとまりのある内容を聞いて、質問に適切に応じることに課題が見られる。 ●英文を正しく書いたり、自分の考えを相手に伝えるように書くことに課題が見られる。	

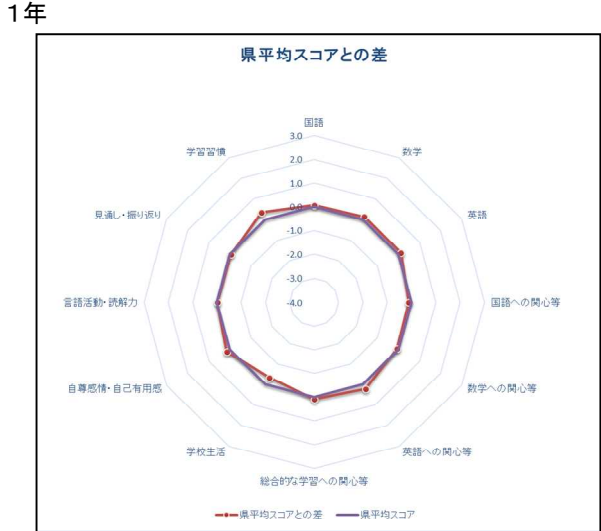
(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○話し合い活動がよく取り入れられ、授業の中で自分の考えを発表する機会も確保されている。	○子ども達の主体的な学びを支えるために、以下のような取組を推進する。 (1)家庭での予習復習(宿題)への取組 ・習慣化した学習の積み重ねが学習内容の定着につながる。 (2)家庭での読書 ・読書を通して感性や多様なものの見方・考え方を身につける。 ・いろいろなジャンルの本と出会うことで、生き方を学び意欲的な学習につなげる。 (3)電子メディアの使い方 ・ゲームやスマホなどの利用について、個人、家庭、学校、学園でメディアルールを作成し取り組む。 (4)家庭での手伝い ・家族の一員としての役割は、学校や社会でも必要な力となる。 ・自分と他者を大切にすることは学習の基盤となる。 (5)親子での会話 ・「認める、褒める、励ます、ねぎらう」言葉は、自尊感情を高めることにつながる。 (6)「学力の樹を育てるための 家庭生活5か条」の推進 (島根県教育委員会「学びのすすめ」リーフレットより抜粋) 第1条 「ねえ聞いて」家族の豊かな会話 第2条 「さあ読もう」家庭で広げる、豊かな読書 第3条 「よし時間」けじめをつけよう生活習慣 第4条 「もう一度」授業と家勉強つなげよう 第5条 「あと5分」伸ばそう自分の可能性
	家庭学習に関わる事項	○学校が宿題をていねいに見て返していることもあり、9割近くの生徒が宿題をしている。 ●家庭において、約半数の生徒が携帯電話を1時間以上使用しており、家庭学習時間に影響している可能性がある。	
2年	授業改善に関わる事項	○話し合い活動がよく取り入れられ、授業の中で自分の考えを発表する機会も確保されている。	
	家庭学習に関わる事項	○学校が宿題をていねいに見て返していることもあり、9割近くの生徒が宿題をしている。 ●家庭において、6割以上の生徒が携帯電話を1時間以上使用しており、家庭学習時間に影響している可能性がある。	

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



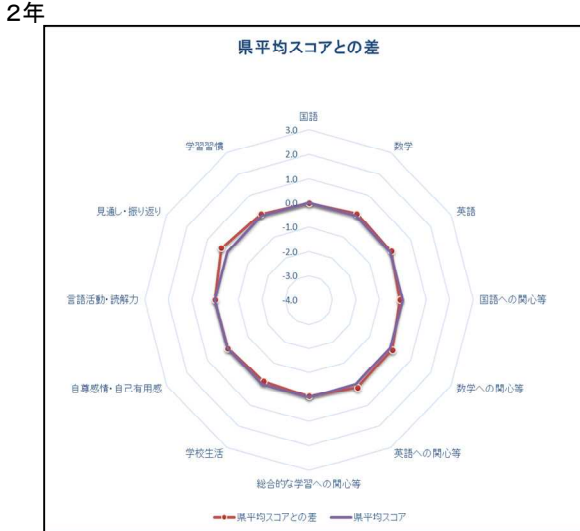
(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

受検者数

1年生 1596 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
2年生	松江市	77	40	54
	島根県	77	38	53

受検者数

2年生 1433 人